

SPI Japan 2021 トーク&納得セッション



YOUのアジャイルから
宝を掘り出しちゃいなよ

そだねー



アジャイル実践ノウハウの抽出

提供：JASPICアジャイル分科会

Let's enjoy this session!

公開版!

概要

本ワークショップでは、アジャイル実践者からノウハウを抽出する様子に参加者に見ていただき、ディスカッションしました。

JASPICで研究されているノウハウ抽出用のテンプレートを用いて、プロセス改善の専門家がアジャイル開発の事例保持者にインタビューし、ノウハウを抽出しました。

その様子を参加者の方々が観察し、テンプレートの効果や組織での活用シーンについてグループディスカッションしていただきました。

本資料では、ワークショップやテンプレートの概要、そして事例保持者や参加者の感想をお伝えします。 ※ノウハウを抽出したワークシート(miro)は公開しません。

本日の進行

No.	分	概要	内容 ◆グループワーク
1	20	主旨と前提	<ul style="list-style-type: none">・主旨説明・◆グループワーク(自己紹介) 10分・JASPICテンプレートの目的・歴史を紹介
2	25	題材の説明	<ul style="list-style-type: none">・JASPICテンプレートのアジャイル版を紹介・◆グループワーク(JASPICテンプレートの活用) 10分
3	60	事例の深掘り	<ul style="list-style-type: none">・進行説明・◆グループワーク(ノウハウ抽出・事例の深掘り) 25分×2
4	15	気づきの共有	<ul style="list-style-type: none">・◆グループワーク(気づきの共有) 10分・まとめ

JASPIC:アジャイル分科会

2016年に活動開始、現在のメンバ数は約30名(JASPICの分科会で最大)

これまでの活動内容や成果物(アジャイル開発スタートアップガイドなど)を公開しています。

JASPICはソフトウェアプロセスの改善に関する研究、普及活動を行っています



📅 イベント
Events

🏢 組織情報
Organization

📅 活動内容
Activities

📄 お役立ち情報
know how

📄 お問い合わせ
Contact

アジャイル分科会

活動内容 → 分科会 → アジャイル分科会

HOME » 活動内容 » 分科会 » アジャイル分科会

2019年11月

検索

既存の開発手法では対応が難しくなってきた昨今のビジネスに於いて、アジャイル開発の重要性は日を追う毎に高まっています。組織のプロセス改善を担うSEPG/SQAにとってもアジャイル開発に対処することが必須となりました。アジャイル分科会では、SEPG/SQAの立ち位置から見るアジャイル開発について議論を行っています。分科会発足

活動内容

本セッションの開催主旨

- アジャイル開発の実践が増えている
- 次のステップに進もう：
 - 現場として：新たな観点でふりかえって改善したい
 - 組織として：ノウハウを組織の中に展開したい
- JASPICテンプレートを活用すれば

アジャイル開発を**組織で**もっと活用できる



本日のアウトプット

- JASPICテンプレートとは何か、その目的は何か、を知る
- 自分の現場の取組みからノウハウを抽出する方法を知る
- アジャイル開発に関心のある人々と話して新しいことを発見する

アジャイル開発で、このテンプレートを活用する目的

- なぜこのテンプレートを紹介したいか

→ 過去のノウハウを学び改善に役立てる、というアジャイルの思想と合っている

- どういう時に役立つか

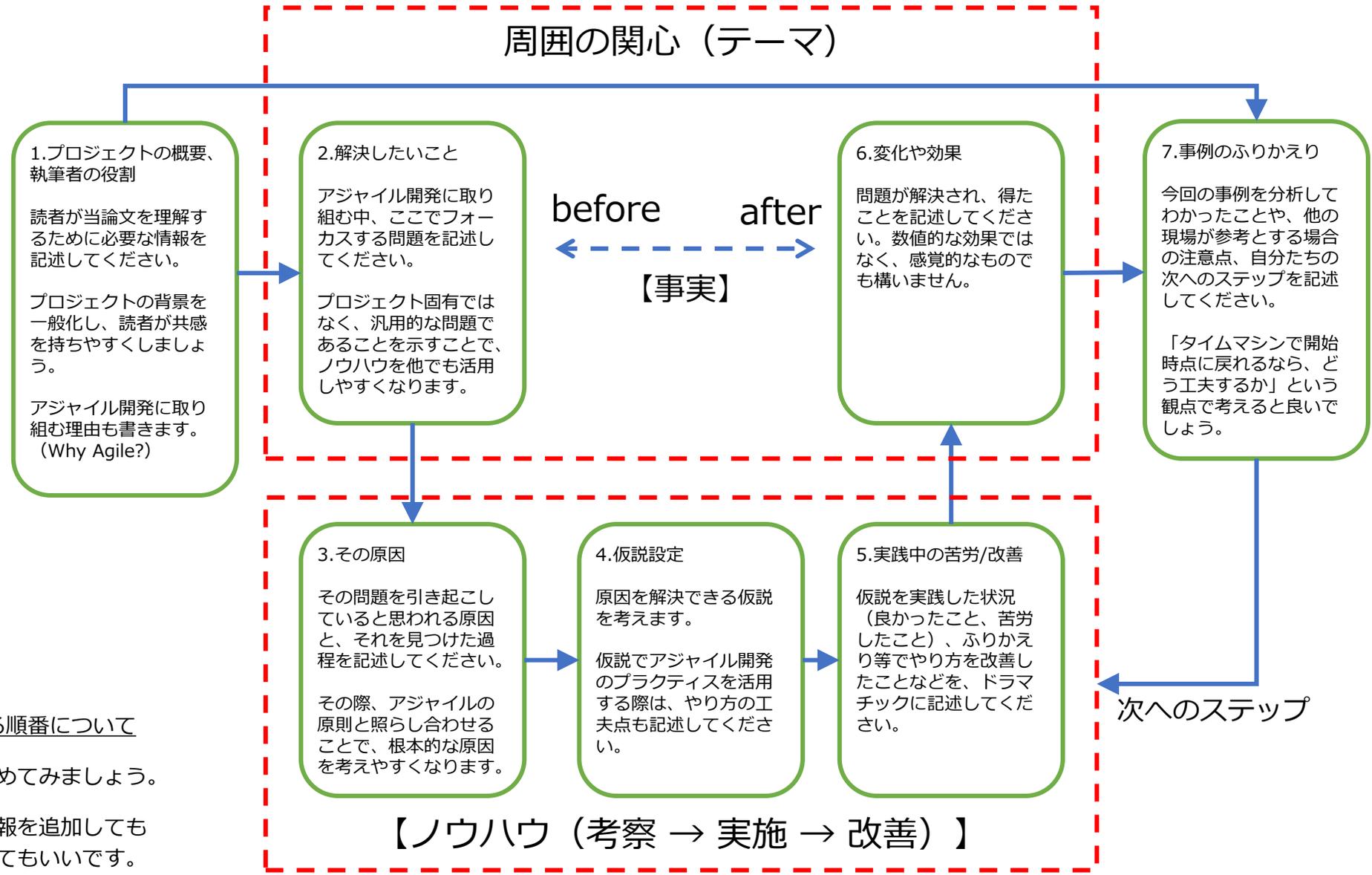
→ 他者が活用しやすい形式にまとめ、組織のノウハウとして蓄積し、横展開できる

- こんな楽しみも

→ SPI Japan に応募し発表することで、組織や業界に貢献できる

論文にして世界の学会に応募すれば日本のノウハウを世界にアピールできる

アジャイル版JASPICテンプレート



テンプレートを埋める順番について

1.~7. の順に情報を埋めてみましょう。

気になったら戻って情報を追加してもいいし、全体を何周してもいいです。

感想

・ 事例保持者（インタビューを受けた方々）

- ・ 今回は過去に実践した「レビューに関する改善」について、あらためて、テンプレートを活用してふりかえりをさせていただきました。課題に対して問題から解決までスムーズに頭を整理することができたのはよかったです。普段はKPTでのふりかえりが中心なんですが、重要な課題に対してはこのテンプレートを用いて整理を進めていきたいと思いました。
- ・ 今までアウトプットを作成するときにも、なんとなく要点を抑えて作っていく意識はありましたが、こうした枠組みを用意してもらうことで構成作りや要点を抑えることはフレームワークに任せることができるので、内容を考えることに集中できるな、と思いました。アジャイルに関して言えば、ご質問の内容などから参加者の皆さんがアジャイルを実践する上での悩み、課題感を垣間見ることができ、今回共有させていただいた内容が少しでも改善のヒントになればいいな、という気持ちでした。
- ・ 質問に対して思いつくことを発散気味に話してしまいましたが、テンプレートがあったおかげで、最終的にはノウハウの道筋が繋がり、他者が参考になる形になったと思います。質問を受ける側（事例保持者）にも、質問する側（ノウハウを抽出する人）にも、メリットの多いテンプレートだと思いました。

・ 参加者

- ・ テンプレートを活用して質問することで、その背景にある原因や考え方、有効なアプローチ、成果につながる様子がわかった。テンプレートはプロジェクトの知見を収集するために使えそうだ。
- ・ アジャイル実践ノウハウとJASPICテンプレートの関係性について、実際にノウハウを抽出する様子を見て理解できた。

おわりに

- 本日事例提供してくださった方々は過去にSPI Japanで事例発表されています。
(アジャイル開発では継続して改善することが成功の秘訣です)

—木村 慎吾さん:2018年

—清水 凌さん:2015年

—今井 貴明さん:2020年

JASPICテンプレートアジャイル開発版を、ぜひみなさんの組織・現場のステップアップに役立ててください。

みなさんのアジャイルが
進化しますように! おわり